

父母連ニュース

草加市保育園父母会連合会 機関紙

2011 年度 第 7 号/2012 年 3 月 10 日発行

発行責任者：

高山 943-2616

表面：市長懇談会報告、子ども子育て新システム速報

裏面：【記録】2011 年度草加市の明日の保育を考える市長懇談会（概要）



市の英断！全園の主食代無料化！！父母会による徴収が不要へ！

～「2011 年度草加市の明日の保育を考える市長懇談会」報告～

草加市保育園父母会連合会 会長 高山幸一郎

さる 2012 年 2 月 10 日（金）、高砂コミュニティセンターにおいて「2011 年度草加市の明日の保育を考える市長懇談会」が行われました。当日は開催が平日の 18 時からという、働く保護者には忙しい時間帯での設定ながらも、各保育園父母会から代表者や会長を中心にご参加いただきました。ありがとうございました。市長懇談会における懇談内容を裏面にまとめましたので、みなさんご確認ください。何ととっても大きいのは、表題のとおり「3 歳児クラス以上の主食代の 4 月からの無料化」です。2011 年度から各園父母会の了承が得られた園から始まった主食の提供でしたが、



主食代の徴収が父母会の役割となっていたため、徴収の難しさや事務量の負担がネックとなり、主食提供に踏み切れなかった園もありました。

4 月からは公立・私立を問わず、認可保育園においての主食は無料化されるとのことで、当然ながら主食代の徴収もなくなる予定です。大変喜ばしい草加市の英断に、参加者からは拍手が occurred。今後もこうした草加市のがんばりを私たち保護者も応援しながら、さらによりよい草加市の保育実現を目指していきたくと思っています。懇談会記録を裏面に掲載しましたのでご覧ください。

【速報】子ども子育て新システム、政府の少子化対策会議にて正式決定される！

政府はさる 3 月 2 日、首相・全閣僚が出席して少子化社会対策会議を開き、消費増税に合わせて導入する新たな子育て支援制度案「子ども・子育て新システム」を正式に決定しました。幼稚園と保育所を一体化した「総合こども園」の創設が柱となっています。待機児童解消に向けた計画策定も市町村に義務づける内容となっており、近く閣議決定し、その後国会に関連法案を提出する方針です。

総合こども園では、専業主婦家庭と共働き家庭の両方の子どもを受け入れます。市町村には、保育サービスの需要量の調査も義務づけ、それを満たすまでは施設の設置申請を基本的にすべて認めることとします。政府は、新制度の財源として消費増税分から年 7 千億円を充て、2015 年度をめどに本格実施する考えとのことです。

父母連ではこの「子ども・子育て新システム」については現行の保育の公的責任を放棄し、保育の質を根幹から崩しかねない制度として導入に反対の立場をとってきました。現に国会レベルでも野党から「待機児童の 8 割以上を占める 3 歳未満児の受け入れが総合こども園に義務づけられていないため、待機児童の解消にならない」と批判が出ています。現在のところ具体的な法案成立の時期のめどは立っていないようですが、計画では 2011 年度中に関連法案の国会提出が方針として打ち出されていますので、予断を許さない状況です。

新システム

NO!

2011 年度 草加市の明日の保育を考える市長懇談会記録（概要）

2012 年 2 月 10 日

記録：高山

【日時】 2012 年 2 月 10 日（金）18：00～19：00

【場所】 高砂コミュニティセンターホール

【出席者】

（1）父母連 会長：高山、事務局長：浜藺、各園代表者・会長等約 40 名

（2）行 政 田中市長、下国子ども未来部副部長、石垣保育課長、福田保育課長補佐、
今井いきいき市民担当マネージャー、三浦いきいき市民担当主幹

<市長挨拶>

24 年度の子育て関連の予算については、中学生までの子ども医療費無料（予算 5 億円）、栄小学校建て替え（予算 30 億円）、小・中学校の耐震補強、小・中学校の特別教室への扇風機配置（各 6 台）等を予定している。また 4 月からは市立病院の別棟に小児夜間急病クリニックが開院となる等、すこやかな子育てができる街づくりに取り組んでいきたい。

<待機児童対策についての回答>

- ①2012 年 4 月に新たに 2 園の民間認可保育園が開園する。新里地域に「につさとの森保育園（定員 90 名）」、北谷地域に「めえめえ子やぎこども園（定員 90 名）」。これら 2 園の新設で待機児の解消を期待している。
- ②来年度以降の年齢別の待機児の解消が具体的にどの程度見込まれるのかは、現在入園希望児の選定・点数化の作業中であり、回答できる段階ではない。
- ③公立の保育の質に対する評価の高さは市としても喜ばしい。民間保育園についてもそれに劣らぬよう、研修の働きかけや支援を行っていくつもりである。

<公立保育園における完全給食の全園実施にむけての回答>

主食代については、今度の市議会において公立・民間の全園において**主食代を無料**とするための予算案を提出する（内訳：公立約 600 万円、民間約 200 万円）。実施時期は 4 月からを予定。無料となるため、主食代の徴収はなくなる。ただし、正式には 2/16 のプレス発表を待ってということになるので、それまでは文書化・活字化するのは控えてほしい。

<草加市の育成保育について>

- ①育成対象児の時間外保育・延長保育・土曜保育の受け入れについては「制度上は可能」ではあるが、保育士不足等の理由から、希望者全員の要望を満たしているとはいえない状況で申し訳ない。関係部局と今後も保育士不足解消のために検討したい。
- ②「中川の郷療育センター」への直通バス運行については、現在のところ予定はない。5 市 1 町で話し合う機会の際にはそうした要望があることはあげていきたい。また中川の郷へも働きかけたい。
- ③民間認可保育園での育成保育実施については、公立保育園がそうした子どもたちを受け入れを担う場所であると認識しており、公立保育園での受け入れ園児数を増やす等の充実を図りたい。
- ④障がいについて保育士が専門的な研修を受ける機会については、保育の場は療育の場ではないという前提があるため十分な研修は現在行っていない。草加市の子育て支援センターと保育士との連携については今後ぜひ充実させていきたい。「子育て支援センター所長にもそう伝えておきます（市長談）」。

<その他（当日参加者との質疑応答）>

- ①「主食代無料はいつごろ告知されますか？」
→議会で承認されて後（3/20 前後）すみやかに関係各所に周知して 4 月実施に万全を期す。
- ②「保育園の耐震補強についての予算化の動きはありますか？」
→耐震補強はまず小中学校を行っているので、もう少し様子を見てほしい。
→（会長より）公立保育園には 2 階建ての老朽化した園もある。そうした園を優先的に行ってほしい。
- ③「地震時に保育園と連絡がとれなかった。各保育園にメール配信等してほしい」
→現在、地震時の対応について各部署に対応見直しを指示している。保育園からもそうした要望が上ってくれば（各園にネット接続できる PC 配置等を）検討していきたい。

<市長懇談会の様子・雰囲気>

一番の懸案であった給食主食代の徴収がなくなったばかりでなく、無料化されたという朗報があったために、例年のような侃々諤々のやりとりはなく、和やかな雰囲気で行われた。当日参加者からも厳しい批判や要望が飛び交うこともなく、市政が転換すると懇談会の雰囲気もずいぶん変わると実感した。